

令和7年度 江戸川区立鎌田小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>かしこく (か・・・知)</li> <li>まあるく (ま・・・徳)</li> <li>たくましく (た・・・体)</li> </ul> きらきら輝く かまたの子	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	【学校像】・児童に確かな力を付けられる学校・地域や保護者に信頼される学校 ・[チーム鎌田小]として活気のある学校・人のかかわりを大切にしたい学校 【児童像】・きまりやマナーを守る子 ・意欲的に取り組む子 ・自分の考えを表現できる子 ・素直で思いやりの心をもった子 【教師像】・児童の心を掴める教師 ・向上心のある教師 ・労を惜しまない教師 ・組織人としての教師
前年度までの本校の現状	成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>鎌田小学校を見守る地域や保護者の強力なバックアップがあり、落ち着いた学校生活を送ることができている。</li> <li>学力向上に向けて、教員は積極的に校内研究や研修を行い、授業力向上に取り組んだ。</li> </ul>	課題	・学力調査の結果から学力は向上してきているが、記述式の正答率が全国平均より－10低い学年がある。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己(学校)評価(A~D)		「中間」学校関係者評価(A~D)		「年度末」自己(学校)評価(A~D)		「年度末」学校関係者評価(A~D)		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○授業改善の推進	・教師が教えるから子供が学ぶ授業の実施	・全クラス、専科も含め授業観察を行い2学期以降には全教員が子供が学ぶ授業を実施。	100%		A	・全クラス、専科も含め1回以上授業観察を行い、授業観察シート等を使用し、授業について指導した。	A	・目標通り全クラス実施できたことは素晴らしい。2学期以降も期待したい。	A	・今年度の校内研究では、国語科文学的文章における指導の工夫に取り組み、進んで学習し、自ら学ぶ授業ができた。	A	・自ら学ぶ授業への取組は素晴らしいと思います。 ・指導の工夫に取り組めたことが素晴らしいです。 ・算数の学力が低いが、基礎を大切に、長い目で育てたい。	・基礎を大切にするために、専科も含めて授業観察を行い、算数の学力も伸ばせるように取り組む。
	○授業力の向上	・高学年において教科担任制の実施	・高学年以外にも全学年で年間を通して教科担任制による授業や合同授業を実施。	100%		A	・1年生は体育、2年生は国語の合同授業を実施し、3年から6年は、教科担任制による授業を実施できた。	A	・自分の思いや考えを言葉や文章として表現できたら素晴らしい。 ・課題として「記述式の正答率が低い学年がある」との事で、この課題に対する取組項目があるとよい。	A	・年間を通して1・2年は生活科の合同授業、中学年は、総合による合同授業 5年は、国語・理科・社会、6年は、書写・理科・社会・家庭科で教科担任制による授業を実施できた。	A	・これらの取組が学力調査の結果に反映されたと思います。 ・教科担任制になることで、クラスごとの進みによって宿題やテストの連携を考えてほしいです。	・次年度も低学年は合同授業、中学年から教科担任制を実施し、授業力の向上を目指す。
	○学習基盤となる基礎・基本の確実な習得	・江戸川っ子スタディウィークの実施	・学期に1回7日間、ミライシードのドリルパークに全児童が取り組む。	100%		A	・4月24日から30日の7日間で全児童が取り組んだ。	A	・全児童の取組を継続して欲しい。	A	・4月の7日間、12月13日から19日までの7日間、2月3日から2月9日の7日間全児童が取り組んだ。	A	・定期的に取り組めていてよいです。	・次年度も全児童を対象に、学期に1回、基礎基本の学習に取り組む。
		・業者による放課後補習教室「EDOスク」の実施	・年間延べ90時間以上実施し、学習状況を把握しながら個別最適な学びを行う。	100%		A	・1学期中は予定通り25時間を実施できた。全学年の進捗状況を把握しているリーダーと連絡を取り合い学習状況を把握できた。	A	・放課後補習に助けられています。 ・個別学習を深めていくことを期待したい。	A	・1月末までに放課後補習教室を75時間実施した。3月15日までに90時間以上実施する予定である。	A	・学力向上につながるので、素晴らしいです。	・次年度も担当者を2名つけ、業者と連携しながら個別最適な学びで学力向上に取り組む。
	○読書科の更なる充実	・読書タイム、読書週間の設定 ・朝の読み聞かせ活動の設定 ・学校図書館の環境整備や興味・関心を高める取組の推進	・年間30時間以上実施。 ・年間7回、保護者・教員校長を含めた読み聞かせ活動を実施。 ・年間3回以上、春夏秋冬の季節ごと館内案内版を実施。	100%		A	・7月に読書週間を実施した。スタンプラリーを行い、進んで読書に取り組んでいた。 ・6月、7月と校長・保護者を含めた読み聞かせ活動を実施した。 ・5月に運動会、6月に雨の日をテーマにした掲示やBOOKコーナを設置し、季節感を出した。	A	・目標通り実施できたことは素晴らしい。2学期以降も目標達成を期待したい。 ・実際の掲示を工夫されており、目につきやすいものだった。	A	・1月末までに読書タイム・読書週間で30時間以上読書に取り組んだ。 ・6月、7月、9月、10月、11月、12月、1月の年間7回、校長・教員、保護者を含めた読み聞かせ活動が実施できた。 ・月に1回程度年間12回、季節ごとの館内案内版を使用し、季節感が出せた。	A	・子供達がたくさんの本に触れる機会が増えることで関心が高まってとても良いです。	・学校担当者と東部図書館との連携を密にする。 ・読書ボランティア活動の周知の充実も図っていく。
体力の向上	○運動意欲や基礎体力の向上	・縄跳びチャレンジウィークの設定	・学期に1回、2週間実施。	100%		A	・4月21日から5月9日まで縄跳びカードを使用し、全学年で実施した。	A	・気候の変動にも留意いただきながら、継続して実施できることを期待したい。	A	・4月に2週間、11月18日から11月28日、2月17日から2月27日までの各2週間、朝の時間や中休みを利用し、体力向上を図った。	A	・基礎体力に児童の基本が作られていきます。もう少し運動を。 ・体力向上につながって素晴らしいです。	・運動意欲や基礎体力の向上を図るため、学校全体で行う体育的行事や休み時間での取組も充実させていく。
教育の現況	○特別支援教育「かえで教室」の推進	・巡回指導員かえで教室教員による授業後、その指導内容を紙面回覧し、共通理解を図る。	・週1回以上実施。必要に応じて、担任等と学習方法について再考していく。	100%		A	・紙面回覧を毎週実施し、必要な情報については口頭にて情報共有をした。	A	・情報の共有を継続していただき普通級との連携も考えられていくとよい。	A	・年間を通して、指導内容を共通理解したり、児童の様子を聞いて情報共有を図ったりし、特別支援教員を通じてかえで教室と密に連携ができた。	A	・特別支援教育との連携をお願いします。 ・来年度にもつなげてほしいです。	・今後も意見交換の場を設定し、複数の目で児童の様子を見ていく。

社会の推進	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導の実施・充実	・各学級で1学期中には学習環境を整える。	・学期に1回程度、ユニバーサルデザインを意識した授業を行う。	100%		A	・各学級ユニバーサルデザインを意識した掲示物や授業を行い、学習環境を整えた。	A	・学習後の理解が進むことを期待したい。	A	・ユニバーサルデザインを意識した授業について全学年で学期に1回以上実施できた。	A	・ユニバーサルデザインが定着していったほしいです。	・ユニバーサルデザインを意識した掲示物等の見本のクラスを全体で紹介して共有し、充実を図っていく。
不登校・いじめ対応の充実	○個に応じた指導の実施	・不登校児童や配慮が必要な児童への支援の充実	・月に1回以上、特別支援委員会を実施。 ・スクールカウンセラーによる5年生全員面談を実施	100%		A	・特別支援委員会を4月に2回、5月に1回、6月に1回、7月に1回実施した。 ・5年生は全員面談を実施し、実態を把握できた。	A	・いじめになる前に先生に話せる環境があり、丁寧な対応があると感じている。 ・実態を把握した後の情報共有もお願いしたい。	A	・特別支援委員会を月に1回以上実施した。9月からエンカレッジサポーターを申請し、不登校児童への登校支援や別室での個別対応を行い、個に応じた指導が実施できた。	A	・色々ないじめのケースがあり、個々に応じた指導を今後もお願い致します。 ・一人一人丁寧に向き合って対応していると感じています。	・予防と早期発見対応ができるようアンケートや面談等で情報を得るようにしていく。またエンカレッジサポーターの積極的活用を図っていく。
	○教育相談の強化	・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携強化	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、巡回心理士、巡回教員、特別支援教育専門員等との情報共有やミニ研修の場を月1回以上実施。	100%		A	・教育相談等について、保護者や関係機関から情報が来た際には、その日のうちに各関係者、関係機関と情報共有を行い、連携強化をした。	A	・今の取組を継続していただき、ミニ研修などのインプットの場合も増えていく取り組みが強化されると感じる。	A	・スクールカウンセラー勤務日には、面談等で出た情報を共有し、すぐに担任に伝えることができた。スクールソーシャルワーカーは、不登校児の登校支援や面談を通じて、その都度児童の様子を共有することができたが、今後はさらに担任との指導方法の共通理解が必要であると感じている。	A	・不登校の原因が解消され、学校に足が向いてほしいです。	・今後も定期的に情報共有を行う時間を設定し、連携を強化していく。よりよい支援になるように引き続き進めていく。
学校(園)の地域社会に開かれた実現	○学校ホームページの充実	・学校ホームページの積極的な配信	・学校ホームページの学校日誌を2日に1回は更新する。	100%		A	・学校日誌はほぼ毎日更新し、各学年の様子を配信した。移動教室時にもその日のうちに更新し児童の様子が分かるようにした。夏休みについても、水泳教室や着衣泳について更新し、積極的に配信した。	A	・毎日更新が楽しみであった。 ・課外活動など、郊外での配信もよく、欲しいと知られてる情報を提供できていた。	A	・児童の学習の様子、その季節や行事に合わせて考えられた給食メニュー等をホームページで配信することができた。	A	・保護者が安心できる情報発信をお願いします。 ・子供達が楽しめるメニュー、そして味わって楽しめる最高の給食でした。	・引き続き、学校の様子が分かるように更新をしていく。
	○学校公開の実施・充実	・教育活動の積極的な公開	・年間3回の学校公開を実施。近隣保育園・幼稚園にも通知文を送る。	100%		A	・6月に学校公開を行い、近隣保育園・幼稚園にも通知文を送った。来年度入学の1年生保護者にも説明会と質疑応答時間を設定し、その後学校公開を行った。	A	・積極的に学校活動の公開が行われている。公開後のアンケートを実施して意見も取り入れも行われていた。	A	・6月、9月、2月の年間3回学校公開を行った。事前に近隣保育園・幼稚園に通知文を送り、積極的な公開を行った。	A	・外部講師の授業があり、とても刺激があって良かった。	・学校公開では、掲示物も充実させ、教室内や廊下の掲示物等学習の様子が分かるようにしていく。
	○学校関係者評価の充実	・保護者評価の実施 ・年間3回の学校評議員会の実施	・保護者評価は年1回、関係者評価は年2回実施。	100%		A	・5月に学校評議員会を行い、その場で出た意見をまとめ、全教職員にも情報共有をした。 ・運動会後保護者アンケートを取り、その結果等を踏まえ、7月の学校便り特別号として学校の意見を発信した。	A	・学校便りでは、出た意見をきちんと発表できていた。 ・保護者からの意見は上手に取り入れて欲しい。	A	・5月と2月に学校評議員会を行い、ご意見をともに教育活動に取り入れて行った。 ・12月にも学校教育に関するアンケートを実施し、集計結果を保護者に配信できた。	A	・学力が向上していることに嬉しく感じました。	・保護者や学校関係者の声を大切にし、全教職員で連携するとともに、学校教育の充実につなげていく。
教育の特色ある展開	○「学校における働き方改革プラン」に基づく取り組みの実施	・SSSによる作業依頼の充実 ・夕会や職員会議等の内容の精選 ・校務支援システムの積極的な活用	・週に1回程度学校経営支援会議を実施。月の時間外勤務時間平均60時間以内を目指す。	97%		A	・毎週火曜日に学校経営支援会議を実施した。その場で課題等について話し合い、紙面で全教員に情報共有をした。 ・時間外勤務時間60時間以内は、4月に1名のみ61時間でそれ以外の月は全員60時間以内だった。勤務時間平均は全員60時間以内だった。	A	・時間外勤務時間は世間でも注目されている課題であり、今後の教育界としても重要な取り組みがあると感じているので目標の達成はすばらしい。	A	・9月から土日出勤表を作成し、時間外勤務の仕事内容を把握し、抱えている仕事について助言してきた。SSSの積極的活用も会議を通して周知してきた。 ・9月から夕会等会議欠席者ファイルを再作成し、確実に情報を共有できるようにした。	A	・教員の負担が軽減できるように協力していきたい。	・今後も校務支援システムや教員用タブレット端末等を活用し、効率的に業務を進められてるようにしていく。
	○地域、保護者、学校とともに歩む学校づくり	・金管鼓笛隊、和太鼓クラブの活動 ・特別活動、地域行事への参加	・年間1回以上地域行事等で発表。	100%		A	・9月にPTA主催の鎌小まつりで金管鼓笛隊と和太鼓クラブが発表した。 ・10月に行う江戸川区民まつりにも金管鼓笛隊が出演予定。	A	・鎌小まつりは、コロナ禍前とほぼ同じ規模で開催でき、児童達への良い思い出となった。 ・地域に開かれた学校運営がされている。	A	・PTA主催のまつりに1回、区民まつりに1回、金管鼓笛隊と和太鼓クラブの発表を行った。学習成果発表会でも発表の場を作り、全校児童と保護者に発表できた。	A	・地域に開かれた学校運営がされています。 ・学習成果発表会で発表の場を作って頂けて良かった。素晴らしい。	・金管鼓笛隊や和太鼓クラブが充実できるように外部講師を活用し、引き続き地域行事で発表できるように進めていく。